

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
A103	日本語基礎 I	1 年	講義	2	石井誠
<b>授業概要</b> 1週間に2回の授業を行う。授業は講義形式ではなく、教室内で学生自身がさまざまな活動を行う形式である。繰り返し日本語を使った言語活動の練習をする。教室内での発表、討論など学生たちの積極的な参加を期待する。作文の授業では時間内に書き終わらなかった作文を宿題とすることもある。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> ・外国人留学生が大学生活を送る上で必要な日本語力が身につく。(DP1「コミュニケーション力」) ・読解、口頭発表、作文作成の作業を繰り返すことにより、コミュニケーション力が向上する。(DP1「コミュニケーション力」)					
<b>授業計画</b>					
回	表 題	学修内容			
1	日本語学習方法再確認	効果的な学習法を確認し、今後の日本語学習に対する取り組みを計画する。			
2	作文編 第1課 導入	原稿用紙の使い方を習い、実際に原稿用紙を使って文を書く練習をする。			
3	自己紹介文作成	原稿用紙の書き方に従い、自己紹介文を書く練習をする。			
4	自己紹介発表会	各人が自己紹介を行い、それに対して質疑応答を行う。			
5	読解編 第1課 導入	テキスト本文を学習し、文章の構造を学習する。			
6	読解編 第1課 文法学習	本文漢字テスト、「です・ます体」と「だ・である体」の区別を練習する。			
7	作文編 第2課	文体書き換え練習を行い、話し言葉と書き言葉の違いを理解する。			
8	読解編 第2課 導入	テキスト本文を学習し、内容を理解する。			
9	読解編 第2課 文法学習	本文漢字テスト、連用中止形を使った書き言葉を練習する。			
10	作文編 第3課	文章と段落の構造を学習し、段落分けを考えながら文章を書く練習を行う。			
11	読解編 第3課 導入	地図に関する知識を身につけ、テキスト本文の内容を理解する。			
12	読解編 第3課 文法学習	本文漢字テスト、文の構造に関する理解を進める。			
13	作文編 第4課 導入	助詞「は」と「が」の使い分けを学習し、練習問題で理解を深める。			
14	作文編 第4課 作文作成	自分の国の有名人という題で作文を作成する。			
15	中間試験	読解編第3課、作文編第4課までの範囲を復習し、テストで習熟度を確認する。			
16	読解編 第4課 導入	テキスト本文の内容を理解し、各自の睡眠習慣について討論する。			
17	読解編 第4課 文法学習	本文漢字テスト、定義の表現方法を学習し、例文の内容理解を深める。			
18	作文編 第5課 導入	さまざまな助詞相当語の使用法を学び、テーマの述べ方を練習する。			

19	作文編 第5課 作文作成	テーマを述べる文章を作成し、自分の国の特別なものをテーマに作文を作成する。
20	読解編 第5課 導入	テキスト本文の内容を理解し、時間の経過を述べる表現方法を学ぶ。
21	読解編 第5課 文法学習	本文漢字テスト、各種助詞相当語の例文を読み、分類し、使い分けを理解する。
22	作文編 第6課	理由・経過を述べる表現方法を学び、短文作成で練習する。
23	読解編 第6課 導入	テキスト本文を理解し、段落を要約する練習をする。
24	読解編 第6課 文法学習	本文漢字テスト、比較・対照の表現方法、指示語の使用法を理解する。
25	作文編 第7課 導入	定義の表現方法を復習し、強調構文の書き換え練習を行う。
26	作文編 第7課 作文作成	定義の表現練習を行い、定義を含んだ文章の作文作成を行う。
27	読解編 第7課 導入	テキスト本文を読解し、温暖化を取り上げたニュース、記事を学習する。
28	読解編 第7課 文法学習	本文漢字テスト、原因・結果を表す表現方法、複文、従属節の読み取り練習を行う。
29	作文編 第8課 導入	第5課に引き続き、さらに助詞相当語の使い方を練習する。
30	作文編 第8課 作文作成	判明事項の表現方法を学び、資料から読み取った内容を表現する作文を作成する。

#### 準備学修(授業外の自己学修)

読解編の授業のときは教科書本文に読めない漢字がある場合、事前に調べて、音読できるように予習しておく。授業のあとは各自、音読練習、漢字の書き取り練習を繰り返しておくこと。作文の授業では時間内に書き終わらなかった作文を宿題とすることもがあるので、その場合は図書館などを利用して書き上げ、期限までに提出すること。

#### 成績評価の方法・基準(%表記)

中間試験(30%)、期末試験(50%)、漢字などの小テスト(10%)、課題提出(10%)などを総合評価する。

観点	S	A	B	C
教科書にある基本的な漢字を理解し、自身でも正確に表記する。	ほとんど問題が見られない	ほぼ問題なく可能	おおむね可能	部分的に誤りが見られる
教科書の内容を正確に読み取る。	正確に理解できる	ほぼ問題なく理解できる	大筋で間違えなく理解できる	不十分な部分もあるがほぼ可能
口頭または文章で自身の意見を表明する。	自由に意見表明できる	おおむね伝えられる	不十分な部分もあるがほぼ可能	多少わかりにくい部分がある

#### 教科書

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語①読解編』、アカデミック・ジャパニーズ研究会編著、アルク、2015年、1,728円

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編』、アカデミック・ジャパニーズ研究会編著、アルク、2015年、1,728円

参考書等

『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』、石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,728円

#### 履修上の注意・学修支援

1週間に2回の授業を行い、両方を受講して2単位取得となる。授業の中でさまざまな活動を行うので出席を重視する。遅刻も極力しないよう努力すること。全授業日数の2/3以上出席しないと期末試験の受験資格を失う。受講生は日本語能力試験N2合格程度の日本語力を必要とする。このレベルに達しない受講生は補習授業を受講すること。課題は期限までに必ず提出すること。受講するクラスは指定されるので、教員の指示に従って受講登録すること。